

# 成人病集団検診

(第3報)

金沢大学結核研究所臨床部

村 沢 健 介

岐阜県神岡町病院 (院長: 本多幸三郎)

本 多 幸 三 郎

三井金属鉱業所神岡鉱山病院 (院長: 富田国夫)

富 田 国 夫

(受付: 昭和41年3月30日)

## 緒 言

私達は昭和36年来、岐阜県神岡地区で、胃および高血圧疾患を中心に成人病集団検診を行ないすでに、第1報、第2報としてその成果を発表してきた。

今回は同地区で引続き実施した成人病集団検診、昭和39年度1,177例、内40歳以上960例、昭和40年度1,517例、内40歳以上1,096例について行なった結果について報告する。

## 実 施 方 法

実施要領のうち受付、調査表作製、尿検査および血圧測定は第2報と同様である<sup>1)2)</sup>。

胃胸部間接撮影: 間接撮影装置は第2報同様島津製作所製、嵯峨号125型(胃、腸、心臓用高圧専用撮影装置)を用いた。撮影条件も第2報と同様である。撮影方法は昭和39年度では昭和38年度と同様に、胸部、腹部の順に撮影し、腹部では造影剤を1口(20~30ml)内服後、2)レリーフ像、残り全量(計150ml)内服後、3)充満立位正面像 4)第1斜位像、5)20分後立位正面像の5枚法を採用した。5)の20分後撮影は検診時における能率の低下とFilm整理に際しての煩雑さをまねがれ得なく術式の改善が望まれ立位で短時間に十二指腸球部までの充満像を得る方法として発泡錠を利用する方法を考案し<sup>3)4)</sup>、実施せるに検診能率の向上はもとより従来法に比し撮影像においてもほぼ満足出来る結果を得たので、昭和40

年度にはこの方法を採用した。40年度の撮影方法は造影剤を1口(20~30ml)内服後、2)レリーフ撮影、残り全量(計150ml)内服後、3)充満立位正面像、引続き発泡錠1錠を口中でさいざし、少量の水と共に内服後、4)立位正面像、5)立位第1斜位像、6)立位第2斜位像の1人計胸部1枚を含めた6枚撮影である。所要時間は1人4~5分、造影剤はバリアンS(第一製薬)1人150ml発泡錠はパンシーポップ錠1人1錠とした。

その他問診、検便、調査表とFilmの整理、間接Filmの統影、異常所見例の摘出、第一次精密検診の実施要領、治療並びに経過観察の実施等に関しては昭和38年度の方法に準じた。また、第二次精密検診は要精検例の希望病院において行なわれた。

集団検診の編成表は表1の通りである。

## 検 診 成 績

### I 胃集団検診成績

昭和39年度の検診人員は表2のごとく1,177

例で、内40歳以上は960例、男性503例、女性457例で年齢別に見ると40歳代の494例が最も

多い。昭和40年度は表3のごとく1,517例, 内40歳以上は1,096例, 女性539例で両年共やや男性が多い。年齢別に見ると40歳代の579例は最も多く, 高年層になるに従い受診率の低下が見られることは両年共に同様であった。胃間接レ線所見中異常変形に重点をおいて観察したことは第1報あるいは第2報と同様であった。第1報あるいは第2報, さらに昭和39年度の経験にかんがみ昭和40年において撮影術式を変更したことは実施要領の処で述べた通りである。その他の諸検査事項を加味しての要精密検診例は表2のごとく, 昭和39年度においては1,177例中134例(11.3%), で40歳以上960例中119例(12.3%), 内男性503例中71例(14.1%), 女性457例中48例(10.5%), 昭和40年度においては表3のごとく1,517例中110例(7.2%), で40歳以上1,096例中90例(8.2%), 内男性547例中69例(12.6%), 女性539例中21例(3.8%), といずれも男性が女性よりも多い。受診率は39年度150例中134例(89.3%), 40年度116例中110例(94.8%)である。

要精密検診結果は表4のごとく, 昭和39年度においては胃癌1例, 同疑3例, 胃潰瘍5例, 同疑4例, 胃十二指腸潰瘍1例, 十二指腸潰瘍16例, 同疑3例, 胃炎12例, 胃下垂13例, 食道癌疑1例, 直腸癌の疑1例, その他4例, 異状所見なし70例の計134例, 昭和40年度においては胃癌の疑4例, 胃潰瘍6例, 同疑6例, 胃十二指腸潰瘍2例, 十二指腸潰瘍12例, 同疑6例, 胃炎44例, 胃下垂5例, 胃ポリープ疑5例, その他1例, 異状所見なし19例の計110例であった。

昭和40年度の方法の採用により間接レ線像の統影に際しては, 胃角部は云うにおよばず, 大彎部の変形像をも把握できた。さらに立位像における長胃例あるいは, 胃下垂例が示す疑わしき十二指腸球部変形像あるいは不充像, 時に通過障害疑像等もある程度まで鑑別できたので, 胃下垂合併例は5例と少なくなった。

しかし胃炎の混在が多い。(詳細に関しては別に発表する)従って要精検例に異常所見なしの「みすごし」例は少なくない。今後さらにそ

の術式に検討を加え, 私達の目的である, 未だ確立されていない成人病集団検診法について有効で合理的なそして経済的な方法をさらに検討したい。第二次精密検診までにおける年齢別, 性別, 病類別比較結果は昭和39年度表5, 昭和40年度表6である。

昭和39年度の結果は胃癌(末期癌)1例(0.1%), 同疑3例男性2例(0.3%), 女性1例(0.2%), 胃潰瘍5例男性3例(0.5%), 女性2例(0.4%), 同疑7例男性6例(1.1%), 女性1例(0.2%), 胃十二指腸潰瘍1例男性で(0.1%), 十二指腸潰瘍15例男性11例(2.1%), 女性4例(0.4%), 同疑16例男性8例(1.5%), 女性8例(0.7%), 胃炎78例男性55例(10.9%), 女性23例(15.6%), と十二指腸潰瘍の疑を除いては全症例男性に多く, 胃下垂126例男性(8.7%), 女性82例(17.9%), と女性が多い。異常所見なしは696例, 男性358例(71.1%), 女性328例(71.7%)とほぼ同率で, 胃切除後の状態は19例男性14例(2.7%), 女性5例(1.0%)と男性が多い。年齢別には潰瘍は胃炎と同様中年層に多く, 胃癌は高年層に多い。

昭和40年度の結果は胃癌の疑3例男性で(0.5%), 胃潰瘍6例男性4例(0.7%), 女性2例(10.3%), 同疑5例男性4例(0.7%), 女性1例(0.1%), 胃十二指腸潰瘍1例男性で(0.1%), 十二指腸潰瘍13例男性12例(2.1%), 女性1例(0.1%), 同疑7例男性4例(0.7%), 女性3例(0.5%), 胃炎118例男性(15.9%), 女性31例(5.7%), と全症例男性が多い。胃下垂158例男性55例(10.0%), 女性103例(19.1%), と女性が多い。異常所見なしは739例男性350例(63.4%), 女性389例(72.1%), とやや女性に多く, 胃切除後の状態は30例, 男性22例(4.0%), 女性8例(1.4%), と男性に多い。年齢別では昭和39年度とほぼ同様であった。両年度の30~39歳受診例の結果は参考までに例記した。

胃集団検診に際し無自覚性例あるいは訴え, 軽度例より潰瘍あるいは胃炎, 特に胃癌を早期に発見し早期治療にもってゆくことこそ最も価値あることといえよう。従って私達がすでに報告しているように訴え調査を, 間接レ線撮影お

よび検便潜血反応と共に三大必須検査事項と考  
えている。表 8 は 39 年度、表 9 は 40 年度の病類  
別および胃症状訴え比較表である。第 2 報と同  
様訴えのあるほど有所見例の多い結果を得た。  
しかし病類別に見ると、潰瘍例、同疑例、胃炎  
例に案外無自覚性例が多いことが目立つ、女性  
においてもほぼ同様の傾向が伺えた。このよう  
に無自覚性の胃潰瘍あるいは十二指腸潰瘍また  
は胃炎が早期に発見されたことは胃集団検診の  
意義を高めたといえよう。（年齢別表は略す）検  
便潜血反応の結果は陽性群に有所見は多く、2  
回以上陽性群より案外潰瘍例等を発見し得たこ  
とは第 1 報あるいは第 2 報と同様であった。  
（潜血反応の表は略す）

#### 胃集団検診附記

昭和 39 年度の胃癌 1 例は末期癌であり、同疑  
3 例、昭和 40 年度の疑 4 例は第二次精検により  
共に慢性胃炎あるいは胃周囲癒着で、両年を通  
じ胃癌症例はなかった。昭和 39 年度の食道癌の  
疑は手術により異常所見なく、直腸癌 1 例も第  
二次精検により異常所見なしであった。昭和 39  
年度に腹部触診により腫瘤を認めた 1 例は一次  
精検を受けることなく即日入院、開腹術の結果  
臍頭部の一部悪性化するランゲルハンス島腫瘍  
で、十二指腸臍頭部切断術を実施し、経過良好  
で現在家事に従事している。この例は集団検診  
により早期に発見された好運例といえよう。

#### II 高血圧集団検診

高血圧検診における諸種検査要領は第 2 報に  
準じた。

昭和 39 年度における 30 歳以上検診人員は 1.  
177 例で男性 597 例、女性 580 例、昭和 40 年度  
においては 1,517 例で男性 752 例、女性 765 例  
であった。

図 1 は 39 年度、図 2 は 40 年度の年齢別血圧ひ  
ん度曲線を示す。（両年のひん度比較表は略す）。  
両年度共に年齢の増加に比例して高い血圧を示  
す例数が増加し縮期圧においては、男性では 59  
歳までの 120~139 mmHg の Peak が 60 歳から  
140~159 mmHg に移行し、65 歳から 160~  
179 mmHg の山が高くなり 2 峰性を示してい  
る。女性では 60 歳から 120~139 mmHg より

140~159 mmHg へ Peak が移行した。ち期圧  
においては男性では 45 歳で 70~79 mmHg より  
80~89 mmHg に移行し、65 歳で 90~99  
mmHg へと移行を示している。女性では男性  
とほぼ同様の結果を得た。（ひん度表は略す）

上記の血圧を第 2 報と同様 Master の規準に  
従い分類し、グラフにしたのが昭和 39 年度図  
3、昭和 40 年度図 4 である。両年共に正常域は  
年齢の増加と共に減少し、縮期圧においては男  
性では 40 歳より高血圧準備状態と考えられる亜  
高血圧例が年齢の増加と共に徐々に増加し、55  
歳で高血圧症へと移行し、高血圧例の増加が見  
られる。しかるに女性の高血圧は 50 歳より増加  
を示している。ち期圧においては男性では 39 年  
度 60 歳より、40 年度 55 歳より亜高血圧例が増  
加し、女性では 55 歳より亜高血圧例の増加が見  
られる。ち期圧の高血圧例は女性では徐々に  
あるが、50 歳より増加を示していた。以上の  
Master の規準による分類を第 1 報、第 2 報同  
様昭和 39 年度表 9、昭和 40 年度表 10 のように組  
合せて見ると、昭和 39 年度では  $VI > I > II =$   
 $V = VIII > IV > VII$  の順に少なくなり、VI の亜  
高血圧、正常群 53 例、I の高血圧、高血圧 45 例  
が 1、2 位を示していた。40 年度では  $I > VIII$   
 $> VI > IV > II = III > VII$  の順に少なくなり、  
I の高血圧、高血圧群 78 例、VIII の正常、亜高血  
圧群 68 例と 1、2 位を示していた。この組合せ  
群中、間接レ線所見上心変形像を認めた例は 39  
年度では II の高血圧、亜高血圧群 28% が最も多  
く、つぎが VII の正常、高血圧群 25% で、以下  
 $III = V > I > VI > IV > VIII$  の順に少なくなる、  
40 年度においても II 群の高血圧、亜高血圧群が  
44% で最も多く、つぎが V の亜高血圧、亜高血  
圧群 25% で、以下  $I > IV > III > VII > VI$  の順に  
少なくなる。男女別に見ると、男性では縮期圧  
の高血圧群に、女性ではち期圧の高血圧群に心  
変形例が目立つ結果を得た。年齢別では年齢の  
高くなるほど心変形の合併が多く見られた。  
（年齢表は略す）尿中の蛋白陽性例は第 2 報同  
様、縮期圧では 190 mmHg 以上、ち期圧では  
90 mmHg 以上と Master の規準による高血圧  
群に属する例に多い。（表は略す）

高血圧症例における無治療例,あるいは無自覚症例は年々少なくなるとはいえ依然として多く, Iの高血圧群にても39年度は45例中13例(28%) 40年度では78例中24例(30%),に過ぎない. 年齢別では高年層になるに従い無治療の傾向は強く若年層では放置例もさることながら無自覚性例が多い. 従って死亡統計上依然として高血圧症を原因としての死亡率が高い現在今後さらに強力に高血圧症に関する知識の普及につとめたい.

### III 乳腺腫瘍

両年共に乳腺腫瘍の発見は数例に過ぎず全例,慢性乳腺症であった.

### IV 肺癌ならびに肺結核

39年度において肺癌2例,67歳男性,64歳男性を発見せるもすでに末期症状を呈し,対象療法に終わった.

## 結

私達は岐阜県神岡地区における年齢40歳以上を対象とした胃集団検診および高血圧集団検診を引続き,昭和39年度960例,昭和40年度に1,086例に実施した.

胃集団検診において発見した主な疾患は,昭和39年度においては胃癌の疑3例,胃潰瘍6例,同疑5例,胃十二指腸潰瘍1例,十二指腸潰瘍13例,同疑例7,胃炎78例,胃下垂126例,昭和40年度においては胃癌1例,同疑3例,胃潰瘍5例,同疑7例,胃十二指腸潰瘍1例,十二指腸潰瘍15例,同疑16例,胃炎118例,胃下垂158例で両年共に胃下垂例は最も多く次で胃炎例であった.年齢別に見ると,潰瘍は胃炎と同様中年層に多く,性別では男性に多い.胃下垂は女性に多く見られた.両年度の胃癌の疑は全例,潰瘍あるいは胃炎で,胃癌の発見は40年度の1例に過ぎない,この例は末期癌であった.無自覚性の潰瘍あるいは胃炎を案外多く発見することができた.

39年度の触診により腫瘤をふれた例は手術により悪性のランゲルハンス島腫瘍と診断された.

肺結核は39年度,40年度共に38例で全例既往歴者で,治療中の患者もあり,新患発見例はなかった.珪肺結核,39年度11例,40年度15例の全例は治療中あるいは経過観察中であった.

### V 検便虫卵

1) 検便虫卵実施により39年度では蛔虫28例,べん虫37例,39年度には蛔虫37例,べん虫19例の保有虫卵者を発見した.これは従来との報告と比較して低い.

2) 胃集団検診における検便潜血反応の必要性に関し有無され,不要説は強いが,私達は上記に述べたように3大必須検査事項の一つと考えている.

### VI 検尿成績

高血圧検診の項で述べた.

### VII その他

内臓逆転症を両年に各々1人ずつ発見した.

## 語

高血圧検診においては年齢の増加に従い高い血圧を示す例数が増加し,Masterの規準に従い分類すると両年共に縮期圧は男性では40歳より亜高血圧例の増加を示し55歳で高血圧に移行し,女性では高血圧は50歳より増加を示した.ち期圧は男性では55~60歳より亜高血圧例が増加し,女性では55歳より増加を示していた.しかるに高血圧例は女性の50歳より徐々ではあるが増加を示していた.

胸部間接撮影所見における心変形所見例と高血圧例を比較すると男性では縮期圧の高血圧群に,女性ではち期圧の高血圧群に心変形の合併症例が多い.高血圧症群に案外非治療例あるいは無自覚性高血圧例が多いことが目立った.

昭和39年度に2名の男性の無自覚性の肺癌を発見できたが,共に末期症状を示していた.

稿を終るに臨み御懇篤なる御指導を賜った結核研究所柿下正道教授ならびに御協力をいただいた神岡町長大空文太郎氏,神岡町役場厚生課諸氏に対し深甚なる謝意を表を表します.

## 文 献

- 1) 卜部美代志, その他: 成人病集団検診, 第一報, 金大結核年報, 20(中), 103, 1962.
- 2) 水上哲次, その他: 成人病集団検診, 第二報, 金大結研年報, 22(下), 117, 1964.
- 3) 村沢健介, その他: 石川県高校職員集団検診, 第二報. 印刷中.
- 4) 村沢健介, その他: 富山県職員成人病集団検診, 第一報. 印刷中.

## 表 1

## I 成人病検診並びに胃精密検診担当

医 師: 村沢健介, 高田英之, 上原時雄, 宮城文男, 長治達雄, 磨伊正義,  
林 征一郎

医学部学生: 浜田重雄, 山端輝夫

レ線技師: 福田英雄, 西家倜彬, 渡辺猛雄

神岡町保健婦: 3 名

レ線補助者: 2 名

事務補助者: 4~5名

## II 経過観察並びに治療担当

神岡鉦山病院: 富田国夫, 他

神岡町病院: 本多幸三郎

開業医の方々

## III 集計担当: 村沢健介, 本多幸三郎, 補助者1名

表2 昭和39年度検診人員年齢別比較表 (実数)

検診人員 1,177例 (134例, 11.3%) ( ) 内は精検例数

| 年齢 | 30~34     | 35~39      | 40~44       | 45~49       | 50~54      | 55~59      | 60~64      | 65~69     | 70以上      | 計   |
|----|-----------|------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|---|
| 男  | 25<br>(5) | 69<br>(10) | 135<br>(17) | 125<br>(16) | 77<br>(10) | 54<br>(5)  | 55<br>(11) | 29<br>(7) | 28<br>(5) | 503<br>(71)<br>14.1%<br>960<br>(119)<br>12.3% |
| 女  | 34<br>(4) | 89<br>(7)  | 130<br>(8)  | 104<br>(12) | 85<br>(9)  | 61<br>(11) | 32<br>(6)  | 25<br>(2) | 20        | 457<br>(48)<br>10.5%                          |

表3 昭和40年度検診人員年齢別比較表 (実数)

検診人員 1,527例 (110例, 7.2%) ( ) 内は精検例数

| 年齢 | 30~34      | 35~39       | 40~44       | 45~49       | 50~54       | 55~59     | 60~64     | 65~69     | 70以上      | 計  |
|----|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 男  | 76<br>(6)  | 129<br>(10) | 148<br>(18) | 142<br>(18) | 102<br>(16) | 60<br>(6) | 48<br>(7) | 29<br>(3) | 18<br>(1) | 547<br>(69)<br>12.6%<br>1096<br>(90)<br>8.2% |
| 女  | 100<br>(3) | 126<br>(5)  | 164<br>(6)  | 125<br>(3)  | 92<br>(4)   | 69<br>(3) | 43<br>(2) | 25<br>(3) | 21        | 539<br>(21)<br>3.8%                          |

表4 40歳以上精密検診病類別比較表 (実数)

| 病類別     | 年度     |        |
|---------|--------|--------|
|         | 昭和39年度 | 昭和40年度 |
| 胃 癌     | 1      |        |
| 同 疑     | 3      | 4      |
| 胃 潰瘍    | 5      | 6      |
| 同 疑     | 4      | 6      |
| 胃十二指腸潰瘍 | 1      | 2      |
| 十二指腸潰瘍  | 16     | 12     |
| 同 疑     | 3      | 6      |
| 胃 炎     | 12     | 44     |
| 胃 下垂    | 13     | 5      |
| 食道癌疑    | 1      |        |
| 胃 憩室    | 1      |        |
| 十二指腸憩室  | 1      | 1      |
| 胆 石 疑   | 2      |        |
| 直腸癌疑    | 1      |        |
| 胃ポリープ疑  |        | 5      |
| 異状所見なし  | 70     | 19     |
| 計       | 134    | 110    |

表5 40歳以上検診人960例の年齢別、病類員別比較表 (実数)

昭和39年度

( )内は%

| 病類別         |   | 胃癌      | 同 疑     | 胃潰瘍     | 同 疑     | 胃十二指腸潰瘍 | 十二指腸潰瘍   | 同 疑     | 胃 炎      | 胃下垂      | その他     | 異常所見なし    | 胃切除後の状態  | 計   |
|-------------|---|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|----------|---------|-----------|----------|-----|
| 年齢          | 性 |         |         |         |         |         |          |         |          |          |         |           |          |     |
| 70以上        | 男 | 1 (3.5) |         |         | 2 (7.1) |         | 1 (3.5)  |         | 2 (7.1)  | 3(10.7)  |         | 17(60.7)  | 2 (7.1)  | 28  |
|             | 女 |         |         |         |         |         |          |         |          | 1 (5.0)  |         | 18(90.0)  | 1 (5.0)  | 20  |
| 65~69       | 男 |         | 1 (3.4) |         | 1 (3.4) |         |          |         | 5(17.2)  | 2 (6.8)  |         | 20(68.9)  |          | 29  |
|             | 女 |         |         |         |         |         |          |         | 3(12.0)  | 5(20.0)  |         | 16(68.0)  | 1 (4.0)  | 25  |
| 60~64       | 男 |         |         | 1 (1.8) |         | 1 (1.8) | 2 (3.6)  | 1 (1.8) | 11(20.0) | 3 (5.4)  |         | 35(63.6)  | 1 (1.8)  | 55  |
|             | 女 |         |         |         | 1 (3.1) |         | 1 (3.1)  | 2 (6.2) | 1 (3.1)  | 6(18.7)  | 1 (3.1) | 20(62.5)  |          | 32  |
| 55~59       | 男 |         |         | 1 (1.8) | 1 (1.8) |         | 1 (1.8)  |         | 5 (9.2)  | 9(16.6)  |         | 34(62.9)  | 3 (5.5)  | 54  |
|             | 女 |         | 1 (1.6) | 1 (1.6) |         |         |          |         | 1 (1.6)  | 14(22.9) | 1 (1.6) | 43(70.4)  |          | 61  |
| 50~54       | 男 |         |         | 1 (1.2) |         |         | 2 (2.5)  | 3 (3.8) | 8(10.3)  | 8(10.3)  |         | 53(68.8)  | 2 (2.5)  | 77  |
|             | 女 |         |         |         |         |         | 1 (1.1)  | 1 (1.1) | 7 (8.2)  | 18(21.1) |         | 57(67.0)  | 1 (1.1)  | 85  |
| 45~49       | 男 |         | 1 (0.8) |         | 1 (0.8) |         | 1 (0.8)  | 2 (1.6) | 16(12.8) | 13(10.4) |         | 88(70.4)  | 3 (2.4)  | 125 |
|             | 女 |         |         |         |         |         | 1 (0.9)  | 1 (0.9) | 4 (3.8)  | 17(16.3) |         | 81(77.8)  |          | 104 |
| 40~44       | 男 |         |         | 1 (0.7) | 1 (0.7) |         | 4 (2.9)  | 2 (1.4) | 8 (5.9)  | 6 (4.4)  |         | 111(82.2) | 3 (2.2)  | 135 |
|             | 女 |         |         | 1 (0.7) |         |         | 1 (0.7)  | 4 (3.0) | 7 (5.3)  | 2(16.1)  | 1 (0.7) | 93(71.5)  | 2 (1.4)  | 130 |
| 計           | 男 | 1 (0.1) | 2 (0.3) | 3 (0.5) | 6 (1.1) | 1 (0.1) | 11 (2.1) | 8 (1.5) | 55(10.9) | 44 (8.7) | 3 (0.6) | 358(71.1) | 14 (2.7) | 503 |
|             | 女 |         | 1 (0.2) | 2 (0.4) | 1 (0.2) |         | 4 (0.8)  | 8 (1.7) | 23 (5.0) | 82(17.9) |         | 328(71.7) | 5 (1.0)  | 457 |
| 30 ~ 39 歳 例 |   |         |         |         |         |         |          |         |          |          |         |           |          |     |
| 35~39       | 男 |         |         |         | 1 (1.4) |         | 2 (2.8)  | 2 (2.8) | 4 (5.7)  | 3 (4.3)  |         | 56(81.1)  | 1 (1.4)  | 69  |
|             | 女 |         |         | 1 (1.1) |         |         |          | 2 (2.2) | 8 (8.9)  | 11(12.3) |         | 66(74.1)  | 1 (1.1)  | 89  |
| 30~34       | 男 |         |         |         | 1 (4.0) |         | 1 (4.0)  | 3(12.0) | 4(16.0)  |          |         | 15(60.0)  | 1 (4.0)  | 25  |
|             | 女 |         |         |         |         |         | 1 (2.9)  |         | 5(14.7)  | 2 (5.8)  |         | 26(76.4)  |          | 34  |

表 6 40歳以上検診人員1,096例の年齢別, 病類別比較表 (実数)

昭和40年度

( )内は%

| 年齢          | 性別 | 病類別     |         |         |         |          |         |          |           |         |           | 計        |         |
|-------------|----|---------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|-----------|---------|-----------|----------|---------|
|             |    | 胃癌の疑    | 胃潰瘍     | 同 疑     | 胃十二指腸潰瘍 | 十二指腸潰瘍   | 同 疑     | 胃 炎      | 胃下垂       | その他     | 異常所見なし    |          | 胃切除後の状態 |
| 70以上        | 男  |         |         |         |         |          |         | 5(27.7)  | 2(11.1)   |         | 11(61.1)  |          | 18      |
|             | 女  |         |         |         |         |          |         |          | 7(33.3)   |         | 14(66.6)  |          | 21      |
| 65~69       | 男  |         |         |         |         | 1 (3.4)  |         | 10(34.4) | 2 (6.8)   |         | 15(51.7)  | 1 (3.4)  | 29      |
|             | 女  |         |         |         |         |          | 1 (4.0) | 2 (8.0)  | 4(16.0)   |         | 18(72.0)  |          | 25      |
| 60~64       | 男  |         |         |         |         | 3 (6.2)  |         | 8(16.6)  | 7(14.5)   |         | 29(60.4)  | 1 (2.0)  | 48      |
|             | 女  |         |         |         |         |          | 1 (2.3) | 5(11.6)  | 12(27.9)  |         | 25(58.1)  |          | 43      |
| 55~59       | 男  |         |         | 1 (1.6) |         |          | 1 (1.6) | 6(10.0)  | 7(11.6)   | 1 (1.6) | 41(68.3)  | 3 (5.0)  | 60      |
|             | 女  |         |         |         |         |          |         | 4 (5.7)  | 15(21.7)  |         | 49(71.0)  | 1 (1.4)  | 69      |
| 50~54       | 男  |         | 2 (1.9) |         |         | 4 (3.9)  |         | 17(16.6) | 13(12.7)  | 2 (1.9) | 58(56.8)  | 6 (5.8)  | 102     |
|             | 女  |         |         |         |         |          | 1 (1.0) | 4 (4.3)  | 15(16.3)  |         | 70(76.0)  | 2 (2.1)  | 92      |
| 45~49       | 男  | 2 (1.4) |         | 1 (0.7) | 1 (0.7) | 1 (0.7)  | 1 (0.7) | 25 (1.7) | 12 (8.4)  | 1 (0.7) | 93(65.4)  | 5 (3.7)  | 142     |
|             | 女  |         | 1 (0.8) |         |         |          |         | 10 (8.0) | 24(19.2)  | 1 (0.8) | 85(68.0)  | 4 (3.2)  | 125     |
| 40~44       | 男  | 1 (0.6) | 2 (1.3) | 2 (1.3) |         | 3 (2.3)  | 2 (1.3) | 16(10.8) | 12 (8.1)  | 1 (0.6) | 103(69.5) | 6 (4.0)  | 148     |
|             | 女  |         | 1 (0.6) | 1 (0.6) |         | 1 (0.6)  |         | 6 (3.6)  | 26(15.8)  |         | 128(78.0) | 1 (0.6)  | 164     |
| 計           | 男  | 3 (0.5) | 4 (0.7) | 4 (0.7) | 1 (0.1) | 12 (2.1) | 4 (0.7) | 87(15.9) | 55(10.0)  | 5 (0.9) | 350(63.9) | 22 (4.0) | 547     |
|             | 女  |         | 2 (0.3) | 1 (0.1) |         | 1 (0.1)  | 3 (0.5) | 31 (5.7) | 103(19.1) | 1 (0.1) | 389(72.1) | 8 (1.4)  | 539     |
| 30 ~ 39 歳 例 |    |         |         |         |         |          |         |          |           |         |           |          |         |
| 35~39       | 男  |         |         | 1 (0.7) |         | 3 (2.3)  | 4 (3.1) | 5 (3.8)  | 9 (6.9)   |         | 104(80.6) | 3 (2.3)  | 129     |
|             | 女  |         |         |         |         | 2 (1.5)  |         | 1 (0.7)  | 17(13.4)  |         | 105(83.3) | 1 (0.7)  | 126     |
| 30~34       | 男  |         |         | 2 (2.6) | 1 (1.3) | 2 (2.6)  | 2 (2.6) | 3 (3.9)  | 2 (2.6)   |         | 61(80.2)  | 3 (3.9)  | 76      |
|             | 女  | 1 (1.0) |         |         |         | 3 (3.0)  |         | 1 (1.0)  | 12(12.0)  |         | 83(83.0)  |          | 100     |



表7 昭和39年度40歳以上胃検診病類別および胃症状訴え比較表（実数）

その1 男性

| 病類別<br>度 | 胃癌 | 同疑 | 胃潰瘍 | 同疑 | 胃十二指腸潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 同疑 | 胃炎 | 胃下垂 | その他 | 胃切除後の状態 | 異常所見なし | 計       |
|----------|----|----|-----|----|---------|--------|----|----|-----|-----|---------|--------|---------|
| 廿~卅      |    |    |     | 1  |         | 1      |    | 2  | 2   |     |         | 3      | 9       |
| +        | 1  | 1  | 2   | 2  |         | 7      | 4  | 17 | 12  |     | 2       | 74     | 122 503 |
| -        |    | 1  | 1   | 3  | 1       | 3      | 4  | 36 | 30  |     | 12      | 281    | 372     |
| 計        | 1  | 2  | 3   | 6  | 1       | 11     | 8  | 55 | 44  |     | 14      | 358    | 503     |

その2 女性

| 病類別<br>度 | 胃癌 | 同疑 | 胃潰瘍 | 同疑 | 胃十二指腸潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 同疑 | 胃炎 | 胃下垂 | その他 | 胃切除後の状態 | 異常所見なし | 計       |
|----------|----|----|-----|----|---------|--------|----|----|-----|-----|---------|--------|---------|
| 廿~卅      |    |    |     |    |         | 1      |    | 1  | 4   |     |         | 4      | 10      |
| +        |    | 1  | 1   | 1  |         | 3      | 2  | 10 | 24  |     | 2       | 75     | 119 457 |
| -        |    |    | 1   |    |         |        | 6  | 12 | 54  | 3   | 3       | 249    | 328     |
| 計        |    | 1  | 2   | 1  |         | 4      | 8  | 23 | 82  | 3   | 5       | 328    | 457     |

—……訴えなし +……軽度 廿~卅……中等度以上（年齢別表は略す）

表8 昭和40年度40歳以上胃検診病類別および胃症状訴え比較表（実数）

その1 男性

| 病類別<br>度 | 胃癌の疑 | 胃潰瘍 | 同疑 | 胃十二指腸潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 同疑 | 胃炎 | 胃下垂 | その他 | 胃切除後の状態 | 異常所見なし | 計       |
|----------|------|-----|----|---------|--------|----|----|-----|-----|---------|--------|---------|
| 廿~卅      |      |     |    |         |        |    | 4  | 1   |     | 1       | 14     | 20      |
| +        |      | 1   | 3  |         | 4      | 2  | 26 | 26  | 3   | 6       | 86     | 157 547 |
| -        | 3    | 3   | 1  | 1       | 8      | 2  | 57 | 28  | 2   | 15      | 250    | 370     |
| 計        | 3    | 4   | 4  | 1       | 12     | 4  | 87 | 55  | 5   | 22      | 350    | 547     |

その2 女性

| 病類別<br>度 | 胃癌の疑 | 胃潰瘍 | 同疑 | 胃十二指腸潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 同疑 | 胃炎 | 胃下垂 | その他 | 胃切除後の状態 | 異常所見なし | 計       |
|----------|------|-----|----|---------|--------|----|----|-----|-----|---------|--------|---------|
| 廿~卅      |      | 1   |    |         |        |    | 3  | 5   |     | 1       | 9      | 19      |
| +        |      | 1   |    |         |        |    | 12 | 40  |     | 1       | 126    | 180 539 |
| -        |      |     | 1  |         | 1      | 3  | 16 | 58  | 1   | 6       | 254    | 340     |
| 計        |      | 2   | 1  |         | 1      | 3  | 31 | 103 | 1   | 8       | 389    | 539     |

—……訴えなし +……軽度 廿~卅……中等度以上（年齢別表は略す）

表9 昭和39年度30歳以上1,177例の Master の基準による縮期圧とのち期圧の  
組合せと心変形群比較表 (実数)

( ) 内は心変形例 %

| 血圧縮<br>性 | I<br>高血圧<br>高血圧 | II<br>高血圧<br>亜高血圧 | III<br>高血圧<br>正 常 | IV<br>亜高血圧<br>高血圧 | V<br>亜高血圧<br>亜高血圧 | VI<br>亜高血圧<br>正 常 | VII<br>正 常<br>高血圧 | VIII<br>正 常<br>亜高血圧 | 正 常           | 計                |
|----------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------|------------------|
| 男        | 18 (2)<br>11%   | 11 (4)<br>36%     | 11 (3)<br>27%     | 12 (1)<br>8%      | 11 (2)<br>18%     | 28 (6)<br>21%     | 2                 | 6                   | 499(28)<br>5% | 598 (46)<br>7%   |
| 女        | 27 (8)<br>29%   | 10 (2)<br>20%     | 15 (3)<br>20%     | 7 (1)<br>14%      | 10 (3)<br>30%     | 25 (4)<br>16%     | 2 (1)<br>50%      | 15 (2)<br>13%       | 468(35)<br>7% | 579 (59)<br>10%  |
| 計        | 45(10)<br>22%   | 21 (6)<br>28%     | 26 (6)<br>23%     | 19 (2)<br>10%     | 21 (5)<br>23%     | 53(10)<br>18%     | 4 (1)<br>25%      | 21 (2)<br>9%        | 967(63)<br>8% | 1,177(106)<br>9% |

(年齢別表は略す)

表10 昭和40年度30歳以上1,514例の Master の基準による縮期圧とのち期圧の  
組合せと心変形群比較表 (実数)

( ) 内は心変形例 %

| 血圧縮<br>性 | I<br>高血圧<br>高血圧 | II<br>高血圧<br>亜高血圧 | III<br>高血圧<br>正 常 | IV<br>亜高血圧<br>高血圧 | V<br>亜高血圧<br>亜高血圧 | VI<br>亜高血圧<br>正 常 | VII<br>正 常<br>高血圧 | VIII<br>正 常<br>亜高血圧 | 正 常            | 計                |
|----------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|----------------|------------------|
| 男        | 30 (5)<br>16%   | 15 (8)<br>53%     | 11 (2)<br>18%     | 19 (3)<br>15%     | 20 (6)<br>30%     | 25 (4)<br>16%     | 9 (1)<br>11%      | 42 (2)<br>4%        | 581(24)<br>4%  | 752 (55)<br>7%   |
| 女        | 48(10)<br>20%   | 10 (3)<br>30%     | 14 (2)<br>14%     | 13 (3)<br>23%     | 8 (1)<br>12%      | 39 (3)<br>7%      | 13 (2)<br>15%     | 26 (8)<br>30%       | 591(39)<br>6%  | 762 (72)<br>9%   |
| 計        | 78(15)<br>19%   | 25(11)<br>44%     | 25 (4)<br>16%     | 32 (6)<br>18%     | 28 (7)<br>25%     | 64 (7)<br>10%     | 22 (3)<br>13%     | 68(10)<br>14%       | 1172(63)<br>5% | 1,514(127)<br>8% |

(年齢別表は略す)

図1. 昭和39年度30歳以上検診人員1,177例  
の年齢別血圧ひん度曲線比較表

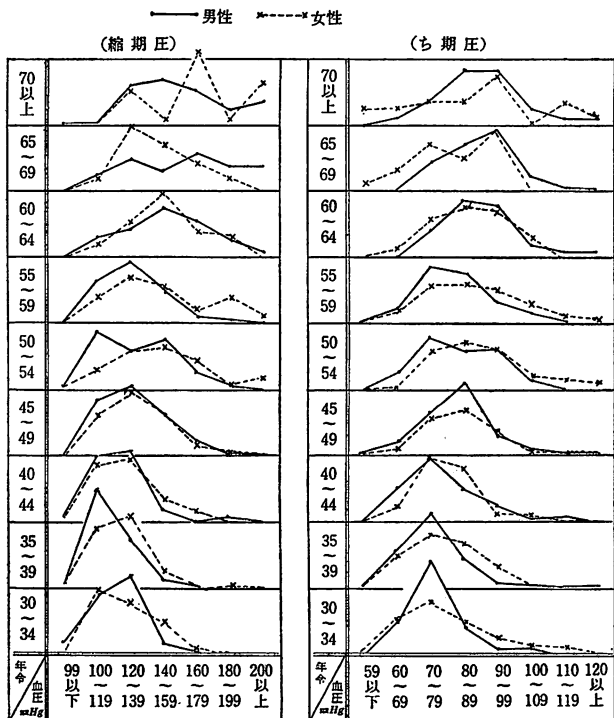


図2. 昭和40年度30歳以上検診人員1,527例  
の年齢別血圧ひん度曲線比較表

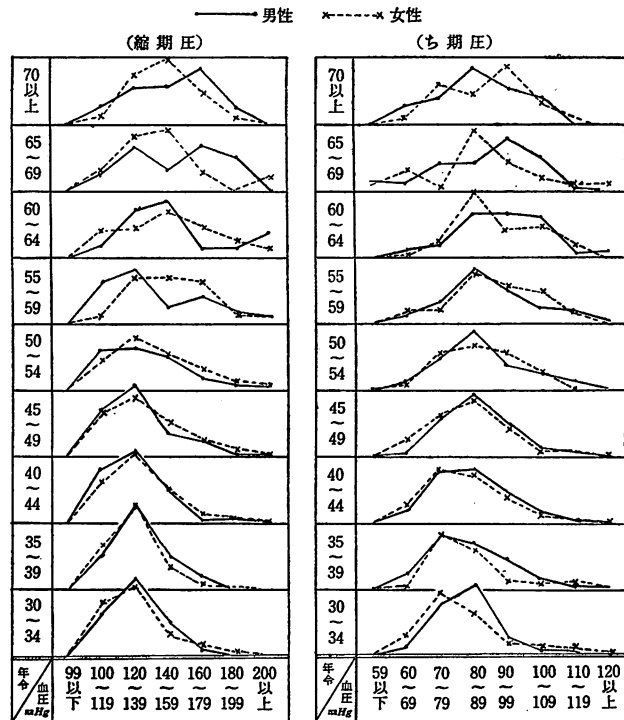


図3. 昭和39年度40歳以上検診人員 960 例の  
Master の規準による血圧ひん度比較表

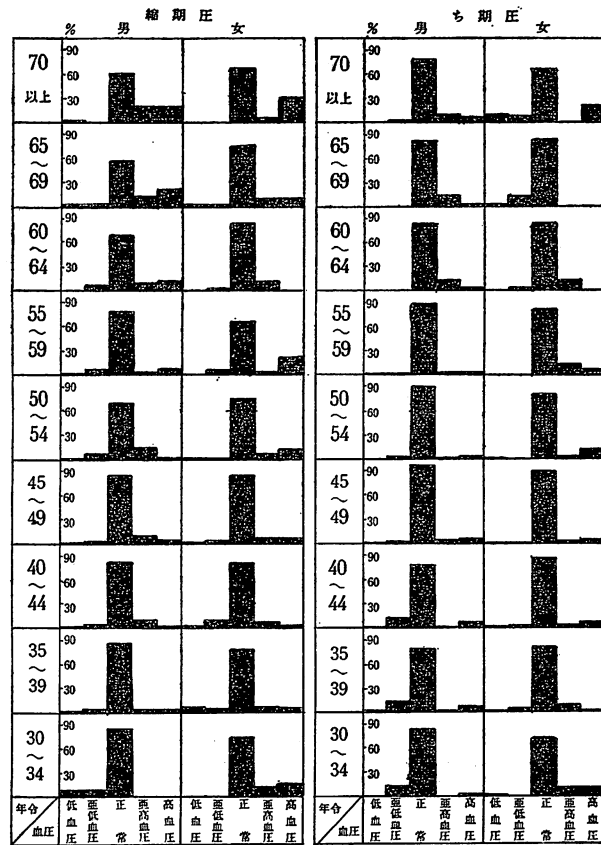


図4. 昭和40年度40歳以上検診人員1,096例の  
Masterの規準による血圧ひん度比較表

